

校長室だより第 20 号（令和 7 年 8 月 15 日）

残暑お見舞い申し上げます。

今日は 8 月 15 日。80 回目の終戦記念日です。終戦から 80 年。つまり、日本は戦争をせずに 80 年間に過ごすことができたということです。しかし、世界に目を向けると、至る所で戦争が行われています。皆さんもご存知の通り、ロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナ、イラン、レバノン…。21 世紀も四半世紀が過ぎようとしていますが、戦争はなくならないのですね。

さて、今回も夏休み中のできごととなります。夏休み中に私が感じた少しだけ教育に関係することを記します。

先日、岐阜県の高山に旅行に行ってきました。江戸時代の風情を残すすてきな街並みが残っています。春と秋には大きな屋台（山車）を曳く、高山祭が有名です。また高山ラーメンや飛騨牛が絶品です。

ホテルに宿泊し朝食をいただくためにレストランに足を運ぶと、いつもの旅行と雰囲気が違うのです。レストランには外国人ばかり。聞こえてくるのは英語に中国語にフランス語。（本当はもっと多言語だったのですが、私が聞き取ることができない。）

日本人は私たち家族だけ。「ここは日本なのか？」とってしまうほどでした。朝食を取りながら、後からレストランに来る方をチェック（？）したのですが、すべて外国人でした。レストランの従業員もその対応に慣れているので、英語等を使って宿泊客とやり取りを行っていました。スマホで調べると、「人口 8 万人の高山市に、年間 60 万人以上の観光客」という見出しが出てきました。高山は外国人にも人気の街なのです。

結局、私が朝食を取っている間、日本人は表れませんでした。つまり、入れ

替わりをした人を含めておよそ40人の中で日本人は私たち家族だけだったということです。

フロントで聞くと、およそ半数の宿泊客が外国人とのことでした。ちなみに対応してくれたフロントの方も外国人でした。ホテルの近くのコンビニで、日本人同士の会話を聞いて、少しだけホッとする自分に気が付きました。

たくさんの外国の方が日本に来てくれています。それはこの80年間戦争をせず平和に国として歩んできたことも理由の一つだと言えるでしょう。

世界中から戦争がなくなりますように。